

# ひゅーまんねつとわーく

# 地域に生きる

2006年10月 発行 / 第27号

社会福祉法人北摂杉の子会 萩の杜 ジョブサイトひむろ ジョブサイトよど 社会福祉法人北摂杉の子会後援会  
萩の杜家族会 ジョブサイトひむろ家族会 ジョブサイトよど家族会  
〒569-1054 大阪府高槻市大字萩谷14番地1 TEL 072-699-0099 FAX 072-699-0130 info@suginokokai.com



ジョブサイトよど調理室でトレーニング中の野口公世さん（右はi p p o福井氏）

# グループホームの生活 〈過去、未来…そして現在<sup>いま</sup>〉

～グループホームとんだ利用者へのインタビュー～



生活支援センターあんだんて

佐々木 祐 介

法人で初めて立ち上げたグループホームがこれから紹介する方々が暮らしている『グループホームとんだ』です。『グループホームとんだ』が開設して、今年で5年が経ちます。現在は3名の方が生活されています。皆さん毎日一生懸命に会社で働いておられます。

開設当初を思うと、お互いがどんな人だろうか、どんな人がご飯を作ってくれるのか、相談は誰にしたら良いのだろうといった不安が皆さんにはあったことでしょう。

何よりも自分達の就職活動や日々の仕事、グループホームでの生活や職場の環境に慣れることで精一杯の毎日だったかもしれません。

しかし、この5年の間、グループホームの世話人さんとの関わり、毎月の利用者さん同士のミーティング、そしてご家族や仕事を通して、皆さんも開設当初の様子とは変わってきており、生活も徐々に落ち着きをみせています。

そして『グループホームとんだ』の現在は、障害者自立支援法の施行に伴い、利用者さんの利用負担が増え、補助金も削減されているといった状況の中にあります。

そのような“現在”の生活について、そして“過去”と“未来”についても皆さんに語っていただきました。



## ●Kさん（32歳・男性）の話

Q、グループホームで生活して5年が経ちます。この5年間で振り返っての感想を教えてください。

「グループホームで生活を始めてから、洗濯や掃除が一人でできるようになりました。

たまには、キーパーさんに手伝ってもらうこともありますけど…でもなんとか自分でやっています。

実家でお母さんと一緒に暮らしていると甘えてしまうので、家にいた時よりもグループホームのほうがいいです。」

Q、支援者や他の利用者さんについてはどうですか？

「キーパーさんとはなんとかうまくやっています。ただ、ちょっとうるさく言われて、僕を怒らせることがあります。

Nさん、Sさんとは仲良くやっています。二人がいるので楽しいです。」

Q、今はどんな仕事をしているのか教えてください。

「茨木市の中央市場にある食品工場野菜、果物、お菓子の仕分けをしています。

朝一番に荷物をお店に持って行ったりしています。毎日残業もして、しんどいこともあるけど頑張っています。」

Q、仕事のやりがいや不満に思っていることはありますか？

「最近上司に怒られなくなりました。同僚の人ともうまくやっています。

仕事は好きなので続けたいと思っています。給料も、今は生活がやっけていけるので充分です。

仕事の不満は会社の部長が仕事をしないことくらいです。」

Q、将来の夢や希望、また不安に思っていることはありますか？

「仕事の目標では、正社員になりたいです。ボーナスももらいたいし…。

職場のYさんやKさんなどは性格も口も悪いけど、面倒見がよく良い人なので尊敬しています。あんな人になりたいです。

将来の不安は今のところないですが、お母さんには長生きして欲しいです。」

## ●Sさん（28歳・男性）の話

Q、グループホームで生活して5年が経ちます。この5年間を振り返っての感想を教えてください。

「家から離れて一人で生活したいと思ってグループホームに来ました。

グループホームに来る前は、自分に合った仕事が見つかるか心配でしたが、今は仕事の不安はなくなっています。他の利用者さんとうまくやっていけるかどうか、どんな人がいるのか、最初は不安でした。最初はなかなかみんなにとけ込めなかったけど、最近は慣れてきました。」

Q、支援者や他の利用者さんについてはどうですか？

「グループホームで生活して、色々なことがわかったような気がします。色んな人がいるなあと思います。ここでは文句を言われないので良いです。

でも、時間が経ってみんなが少しわがままになってきているような気がします。

あと、一人の支援者に伝えたことが他の支援者には伝わっていないことがあるので、支援者同士でもっと連携して欲しいです」

Q、今はどんな仕事をしているのか教えてください。

「今は老人保健施設で働いています。入浴介助の手伝いや備品の補充などの仕事をしています。以前に老人ホームでボランティアをしていたので、この仕事に興味を持ちました。」

Q、仕事のやりがいや不満に思っていることはありますか？

「僕は人の話を聞くのが好きなので、仕事ではお年寄りの方と話をし、色々なことを聞いて楽しいです。お年寄りの笑顔を見ることがうれしいです。でも、今の職場で同じ業務をしている人がいないので、他の職員さんと休憩時間が合わないのになかなか話ができないのが残念です。」

Q、将来の夢や希望、また不安に思っていることはありますか？

「ヘルパー2級の資格を取ったので、次は介護福祉士の資格を取りたいです。でも、取れるかどうかは心配です。

将来は結婚して、家族と一緒に軒家に住みたいです。そして、自分の子どもから尊敬される人になりたいです。恋愛して恋人ができるかどうか心配なところもあります」

## ●Nさん（24歳・男性）の話

Q、グループホームで生活して5年が経ちます。この5年間を振り返っての感想を教えてください。

「グループホームに入って自分の部屋でTVが自由に見られるので良かったです。

Q、支援者や他の利用者さんについてはどうですか？

「グループホームの世話人さんは、毎日仕事を頑張っていると思います。

気の合う利用者さんがいるので、一緒に野球観戦に行ったり、ボーリングに行ったりできるので楽しいです。」

Q、今の仕事について教えてください。どんな仕事をしていますか？

「僕は特別養護老人ホームで働いています。入浴の着脱介助やトイレ誘導、食事の配膳をしています。」

Q、仕事のやりがいや不満はありますか？

「お年寄りの人は人生の先輩なので話をしていて楽しいです。たまに、言うことを聞いてくれないお年寄りの方もいて困ります。もう少し基本給を上げてもらいたいと思っています。今の仕事はお父さんやお母さんが年をとった時に役立つと思うので、頑張ろうと思います。」

Q、将来の夢や希望、また不安に思っていることはありますか？

「仕事で目標にしていることは施設長になることです。職場の異動でグループホームの仕事をするかもしれないので、料理が上手になりたいと思っています。将来は、お父さんみたいに結婚して、仕事をがんばって、マイホームを実現したいです。

不安に思っていることは、デート商法や結婚詐欺に引っかからないか心配なので、色々教えて欲しいです。あと、一人で料理、洗濯などをして生活できるかも心配です。」



今回は時間の都合でゆっくりと利用者さんと向き合ってインタビューできなかった部分もあります。しかし、このインタビューをして気づかされることがたくさんありました。

皆さんの話は、他の障害のある方々の思いを代弁している部分もあるでしょうし、我々支援者への貴重な意見として受け取りました。

グループホームの生活は特別なものではありません。ただ、制度上のこと、共同生活といった部分などグループホームでしか経験できないこと、グループホームならではの問題があることも事実です。これまで生活する中で起きた問題に、支援者も利用者さんと一緒に悩みながら、少しずつ自分達で答えを出して解決されるようになりました。

インタビューでの話にもあるように、皆さんはそれぞれ現在の生活に対する思いや将来の目標、不安を抱えておられます。

そして、この先も様々な課題や問題を抱えての生活が続くでしょうが、それを前向きにとらえ、少しでも皆さんの人生の糧になればと願います。

この先も『グループホームとんだ』での生活が、誰もが思い、悩むような経験ができる場であればと思います。そして、色々な場所での出会いや経験を通して皆さんの夢や目標は、それぞれ変わっていくと思います。ぜひ、そのような人生を送って欲しいと願っています。

最後に、快くインタビューに応じて頂き、機関紙に掲載することを了解して頂いた利用者の皆さんとご家族に心より感謝いたします。

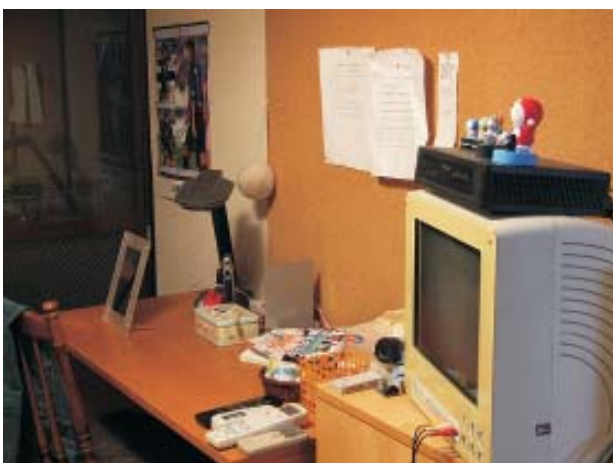
## ～Nさんの生活～



食事はつくってもらいますが、あと片付けは自分でします。



「恋人募集中です」



部屋も片付けています。



明日にそなえて「おやすみなさい」

# IMSプロジェクト 進行状況のご報告



ジョブサイトよど

施設長 佐々木 寛 昭

前号で厚生労働省障害者保健福祉推進事業の採択を法人が受けたことをご報告しましたが、正式名称を「IMSプロジェクト」として9月より始動しました。I=Ippoプロジェクト M=三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) S=北摂杉の子会 の三者の頭文字をとって命名しました。このプロジェクトの目的としては、自立型福祉施設として就労支援力の強化を目指すことにあります。その成果として、①研究報告書②J Sよどの生産性の向上 ③J Sよどの営業発展可能性の調査結果④就労実績を掲げており、三者がそれぞれの業務分野での強みを生かして「成功する就労支援の要諦」をまとめあげることになります。

プロジェクトメンバーは法人職員だけでなく、プロジェクトアドバイザーとして衛生管理面から沖本ジョブサイトひむろ家族会会長、栄養管理面から福田ジョブサイトよど家族会会長にご参加をいただいて幅広くご意見をいただきながら事業を推進していく体制が整いました。月一回プロジェクト会議を開催して進捗状況の報告や課題の解決、方向性の確認をしていき、今年度内に成果を出していきます。

さて、具体的な動きとしてこのプロジェクトはジョブサイトよど4階調理室を改装して実施されるため、お盆休み中に改装工事が行われ、ガス、電気、水道が完備され、保健所から営業許可を取りました。そして

Ippoプロジェクトによる「贅沢野菜のバランスランチ」がすでに毎週30～50食製造されています。

このバランスランチの補助作業にJ Sよどの利用者が徐々に参加していきます。作業を進めるにあたり、まず利用者の意向確認のためのニーズ調査を行い、それぞれに対して調理スキルについてのアンケートをとりました。その後、野菜の皮むきや切り込み作業を行うなど事前準備のため実地評価をした上で、作業内容の検討を進めました。しかし、実際に調理作業に関わる前にクリアしておかないといけないハードルがいくつかあります。それは何をにおいても食品衛生管理が一番の課題となります。自閉症である利用者の方々にかかわりやすく衛生管理を理解していただくかということもこのプロジェクトの目的のひとつです。食品衛生責任者の資格を取得した田端主任を中心に様々なマニュアル作りを進めており、主なマニュアルとして、身だしなみ、手洗い、洗浄、掃除、消毒、調理業務全般等があげられます。これらのマニュアルを写真や絵を多用した視覚的なガイドとして使いながら、何度も繰り返して身につけていくこととなります。また、利用者個々の職業能力がどれくらい向上したのかを事業の前後で測るために客観的な評価尺度が必要になります。現在、厚生労働省の出している評価チェックリストを参考に、労働能力評価表を作りこみを進めています。

このように内部での準備をすすめています。外部での取組にも目を向ける必要があります。そのひとつとして、他の福祉関係施設の食品加工業務の視察を行い、先駆的な取組みを参考にするために岡山県の津山みのり学園を訪れ、見学をさせていただきました。福祉施設の敷地内にありながら福祉施設の形態をとらず、お弁当作りの株式会社を設立されて重度障害者多数雇用事業所として認定を受けて経営をされています。ここでは、能力評価や具体的な職務内容、指導方法など今後参考になる内容をお聞きできました。今後いくつかの事業所を視察する予定です。



これから、実際の作業をする中でいろんな課題が出てくると思いますが、発達障害の人たちの職域を広げていけるようなモデルとなる取組にしていきたいと考えております。



指導を受けながら…



皮むき器も問題なし



食洗機をかけている

### トレーニング中の野口公世さんの様子



包丁は手慣れている感じです



野口さんの実力、ごぼう



じゃがいも



野口さん持参の鼻栓を着けて奮闘！

# 自閉症——ライフサイクルからみた支援と課題を考える

## 第2回 学 齡 期

### 座談会参加者

#### 木下直子さん

37歳と35歳の二人の自閉症のご兄弟を育ててこられました。上のお子さんは現在ジョブサイトひむろに通われ、下のお子さんは萩の杜に入所されています。



#### 中村悦子さん

息子さんは現在34歳になられ、萩の杜に入所されています。当法人立ち上げに尽力されました。



#### 福田啓子さん

19歳の息子さんはこの春よりジョブサイトよどへ通われています。福田さんは大阪自閉症支援センターを発展させる会・オアシスで精力的に活動され、最近まで会長をつとめておられました。



#### 聞き手：松上

（当法人常務理事、萩の杜施設長）



（松上） 前は、幼児期について、お話をうかがいました。みなさん、過ごされた時代により、お子さん方の環境が異なり、それなりに結果が違っていた、ということをお伺いしました。今日は小学校に上がってから学校を卒業するまでの「学齡期」をどう過ごされたのか、ということについてお聞きしたいと思います。まず、入学の時点で考えられたこと、学校に対して期待されたことなどをお聞かせください。

（木下） 兄のときに、幼稚園の先生に「モグリで行きなさい」と言われたんです。障害児であることを隠して行ったらいい、と。はじめはそのつもりになっていたのですが、やはり心配になって、入学式の一週間前に小学校の職員室を訪ねて行って、対応に出たくださった教頭先生に「うちの子は障害があるようですが、幼稚園には普通に通わせていただいたので、学校もそれをお願いします」といいました。そして、集団登校では地域子ども会の子だけに言えばいいものを、全校生徒を前にして「うちの子をよろしくお願いします」と挨拶させてもらいました。とても気負っていたのですね。

一年後、児童数の増加で小学校が分離になり、はじめの学校には養護学級もあるからと引き止められたのですが、やはり隣の子の行く学校に通わせたくて、新しい学校へ行きました。先生方も何もない分かえって一生懸命してくださり、クラス懇談のときにはお母さんを待つ子と一緒に最後までうちの子の面倒を見てくれて、5年間欠席なしに懇談会に出ることができました。ですから、兄の方はいい感じでした。弟はこだわりが強かったこともあり、少し難しかったのですが。

（松上） 高槻という地域性もあるでしょうが、当時統合教育が主流で、原学級で基本的には教育していく、というのが学校側の受け止め方だったんですね。お兄さんは良かったんですね。

（木下） 弟のときはずいぶん雰囲気がかかりましたが、小学校のときはまだ良かったです。中学校時代ははじめもあり大変になるのですが。

（松上） 同じようにしているつもりでも、その子自身の障害程度やそのときの環境によって、やはり違った

ものになるようですね。  
中村さんはいかがでしたか。

(中村) ちは茨木市ですが、統合教育ということで公立幼稚園で加配の先生をつけてもらって、お友達と過ごしていました。そういう時代だったので、小学校も地域の小学校へ行きました。養護学級に在籍していましたが何かの時間だけ現学級にもどったりでした。多動な子ですし、仲間から外れたり、他の人に物を投げたりすることもあるものですから、学級会でもとにかく「こういう子供ですが、ご理解をお願いします」と子供と社会の間に立って、いろいろ説明したり、できるだけ話をする機会をもちました。父兄会のときにも「いつもお世話になっています」とまず挨拶していました。そうするうちに、子供たちはうちの子の面倒を見てくれるようになり、家にも遊びに来てくれるようになりました。

親が熱意をもって話をすれば、周りも理解してくれるということがわかりましたし、またそうなる子供たちも親に話してくれたりするので、それで理解が深まっていくと感じました。ただ、そういうことを受け入れない厳しい学校もあって、父兄から「そういう子供といっしょだと勉強の邪魔になる」と言われることもあるようでした。

現学級には、音楽や体育など、できるだけ入りやすい教科でいっしょにやってもらいました。集団の力が刺激になって、本人が伸びることを期待して普通校に通わせたのです。しかし多動で落ち着きのなさが少しはおさまってくるかと思ったのですが、周囲の理解ができ環境も整ってきたにもかかわらず、本人の伸びはそこでは厳しいものがありました。

けれどやはり思うのは、周りがその子を理解してあげることが、本人の生活をしやすいもするし、住みやすい環境になる、ということです。

(松上) 北摂地域、特にこの辺りは統合教育がベースという地域的背景がありますが、福田さんの場合は大阪市でどうでしたか。

(福田) 小学校は私の母校だったのですが、昔から特殊学級と弱視学級がありまして、障害に対する理解はある学校でした。校長先生が幼稚園の運動会を見に来られたりして、子供の障害については隠せない状況でした。幼稚園の先生がレポートを書いてくださり、いっしょに学校に挨拶に行きまし

た。幼稚園の先生から小学校の校長先生と教頭先生に話をしたと思います。

私自身が当時、統合教育にあこがれていて、1年生の間だけでも、できれば原学級だけでお願いしたいとお願いしていたんです。だめなときは外に出してもらっていいので、と。それ以降になってくると勉強でいろいろ問題が出てくるだろうから、という思いだったのですが、ところが、「そんなことを言うのだったら、養護学校へ行って。」というお母さんが出てきました。そういう自閉の子供たちは、大きくなったら暴力を振るう子がたくさんいるから、と。

それはやはり大変ショックで迷いましたが、普通のクラスに入れてみることにしました。そして周囲のアドバイスもあって、PTAの学年代表を引き受けました。おかげで、いろいろな場面で障害のことについて話の中で触れる機会があつてよかったと思います。「お願いします」と感謝のことは毎回言わせてもらっていました。

PTAをやっていたこともあり、親の立場としてはよかったです。でも勉強の方は、私がTEACCHをかじっていたこともあり、養護担当の先生とトラブルにもなりました。先生は「スキンシップが大切だから」と毛布をもってきて、先生が毛布に入って、うちの子に「いらっしやい」と呼ぶんです。もう寝てばかりいるんです。

そのうち担当の先生がTEACCHに触れる機会があり、TEACCHでうちの子がいい結果がでていることも知り、寝させてばかりよりも、やることがあるとやっと気づいてもらえました。ただ、学校という中で、本来個別支援はできないのですが、少しだけ個別支援を取り入れてみましょうとおっしゃってくださいました。

学校では2、3回ガラスを割ったことがありましたが、おかげでそれぐらいで、担当の先生が考えをかえてくれたおかげで、あとはよくなりました。

それに、療育に行く間は、学校を出席扱いにしてくれる、という計らいもいただいたんです。そのときの資料を学校に持ち帰る、という条件で。

(松上) スキンシップするだけでは、いい結果にはならなかったでしょうね。ですが、出会いがよくて、療育に行っているときは出席扱いにしてくれて、しかもその情報を得て学校でも教育しようという連携が生まれてきているんですね。



(福田) 小学校ではほかに、だんだんこの子は分類が好きだということがわかってきて、理科の時間はわかりづらかったので、その時間にベルマークの作業をしていました。PTAの方々には喜ばれたし、クラスの子供たちも「雄三くんはよく頑張っている」と見てくれて、僕らも頑張ろうかと、結局みなさんよく勉強していました。

(松上) みなさんに共通しているところは、親が中心にならなければならなかった、というところですね。今とあまり変わっていない状況があるようにも思います。親自身がかわっている、というあたりで。福田さんのときは個別支援が入って出会いもよかったです。中村さん、木下さんのところでは、時代が違うのでしょうか、そこまではいきませんね。では、中学校に入ると、それまでと違いはありましたか。

(木下) 小学校ではクラス担任の先生にたよってればよかったのですが、中学校では教科によって先生が変わります。頼りは友達でした。それでも兄の方はさほど問題なく中学生を送っていました。部活動ではブラスバンドに入り大太鼓を担当して、学校の文化祭では補助の女の子がついてくれてなんとか演奏に加わったりもしました。ですが、世の中だんだん変わってきて、我が家にも塾のダイレクトメールが来るようになったりしました。小学校時代は親も自分の子供にやさしさを求めてくれたりしたので助かりましたが、だんだん「うちのクラスは授業が他より遅れている」という声も出てきました。また、子供が寄り道して遅くなった言い訳にうちの子供の名前を使い、親から苦情を言われたこともありました。本当は関係なかったのに。そういうこともあれば、骨折して長期で休んでいる子に、その間の授業を友達がノートにとって届けたということがあり、先生の指示かと聞いてみると自発的だったということで「まきちゃんがクラスにいてくれたから」と親が懇談会の場で言うてくれたりもしました。私も、PTAの役を引き受けたり、PTAコーラスを新しく立ち上げたり、家庭教育学級にも入って地域にとけこむよう努力しました。また、土曜の放課後は家を開放して子供たちに自由に来てもらっていました。小学校のときはほとんどクラスで過ごせていたのですが、中学校では5教科は国語以外は養護学級

でわかれてすごしました。

高校は校区の普通高校と、障害児受入れに寛容でこんど高槻方面に分校を出すという私立の高校を受験しました。私立の高校にすすむ予定でいたのですが、障害児ばかり集まりすぎた、ということで急に分校の計画自体が取りやめになり、結局、養護学校に行きました。

通学路の写真をとって一人で行かせ始めたのですが、だんだん彼の実力を買いかぶっていたということがわかってきました。中学校での体育の時間の着替えも、それまでは周りの子供たちが世話を焼いてくれていたということが。学校に着くとジャージに着替えるのですが、こっそり中の様子を見てみると、着替え室へ入って30分たっても40分たってもパンツ一丁でいるのです。次々と他の子は着替えて出て行くのですが、誰かが指示してくれないとできないようでした。

(松上) 統合教育はいいですが、もっと個別支援があってもよかったですね。本人の育ちが少ないですから。中村さんの場合はいかがでしたか。

(中村) やはり校区の中学校へ進みましたが、現学級はありましたが、いっしょに学んだのは音楽と体育ぐらいで、ほとんど養護学級で過ごすことが多かったです。そこには勉強が遅れがちな子供も3分の1ぐらい入っていました。座って線を描く練習、ひもを通す、そして粘土などもやらせてもらいましたが、養護担当の先生は、個別指導のしっかりとしたものをもっていないで、不満がありました。受け入れはできていたのですが。ほかに、検査のときなどは、学校から付き添いを求められました。中学2年で、横浜に転勤しました。横浜では養護学校で中学・高校時代を過ごしました。

(松上) 普通校と養護学校では違うと思いますが、どう感じられましたか。

(中村) 統合教育では、本人はまわりの理解があれば過ごしやすいです。本人よりもむしろ周りの子などが成長して理解します。周りが成長すれば本人は居心地よくなります。人に対する恐怖感がない、というのも統合教育の中でのいいことだと思います。下に弟がいますが、クラスの先生がそういう子供と遊ぶ機会を作ってくれたこともあり、わざわざ

言わなくても、ずっと地域の中で受け入れてもらえるというのは、家族や兄弟にとってよかったと思います。中学ではそこまでの統合はなかったですが。

養護学校時代は、こどもが一番伸びたときです。多動だったのが落ち着くようになりました。はじめは10分ほどしか座っていられなかったのが、長ければ1時間じっとしていただけるのです。4年生のときから癲癇（てんかん）もあったのですが、現在のように大変ではありませんでした。なかなか信じてもらえないのですが、座って集中してものごとに取り組む、ということが一番できた、建設的なことができた時代でした。

（松上）最後に福田さんはいかがでしたか。

（福田）小学校の先生が「こういう風にやっています」と中学の先生に申し送りをしてくれました。中学の先生が受け入れにあたって一番心配していたのが、創立50周年の記念式典を催すにあたり、うちの子がじっと座っていただけるかということでした。けれど小学校の卒業式のときに、TEACCHの手法を取り入れて時間の見通しのたてやすいプログラムを作ってもらい、そのページをめくりながら待っていた子供の様子を見て、そういうことをやればできるのだと見てもらえました。勉強では5教科ははじめから外してくださいと言ってありました。この子が入ったからできない、と言われるのが困りますので。

過ごし方の工夫としては、教科の先生の顔写真を撮ってもらったり、音楽室の写真をとってもらったり、黒板にわかりやすく時間割を書いてもらったりということをお願いしました。こういうお願いは私からではなく、小学校の養護担当の先生からでした。養護担当は養護担当どうし、校長は校長どうし、という引継ぎでした。

校長先生は理解があり、個別支援で作業ができました。織物の作業をするのに、養護学級だけ大きな机を買ってもらいもしました。いい取り組みをしていると聞いてか、はじめ3人だったクラスが、卒業後15人になりました。

（松上）移行支援がうまくいったケースですね。小学校から中学校へとちゃんとつながったんですね。

（中村）私の場合はそういうものがなく、どこへ行ってもスタートだったので大変でした。

（福田）高校は養護学校へ行きましたが、それも中学の先生が内申書を持って行かれる時に、スケジュールを取り入れた方がいいということはずい分言ってくれました。おかげで入学式の日には彼のためにスケジュールを作ってくださっていて、ちゃんと座っていることができました。

（松上）ちょうど自閉症の子供たちに対する取り組みが始まる時期だったんですね。はじめは否定的だった先生方も、うまい働きかけによって、学んでいってくれたんですね。また小学校から中学校・養護学校への移行時の連携した個別移行支援の大切さを知ることができました。移行支援は今後の大切な支援の課題だと思います。今回は成人期の支援についてお話をお伺いしたいと思います。





# ひゅうまんネットワーク

高槻市教職員組合 書記局次長

北摂杉の子会 評議員 戸田純子

高槻市教職員組合は高槻市内の小・中学校の教職員で構成している労働組合です。現在、会員数は630名で、労働条件や権利、様々な教育の諸問題にも運動の両輪として大きく関わってきています。

障害児教育にも早くから携わってきました。1979年の養護学校義務化を前に「学校での教育保障を！」と、各校区で「就学猶予・免除」で在宅を余儀なくされている児童生徒の掘り起こしから始まり、「教育保障」の取り組みが進められました。しかし保護者の思いや子どもの願いに応えたいという教職員の熱意だけで進み、人的保障や施設設備など整っていない中でしたので、重度の障害のある児童生徒を校区で受け入れるまでには至らず、「高槻市立養護学校(地域に開かれた養護学校)」の設立に至ったと聞いております。そして多くの障害のある子どもたちが校区の学校へ入学し、通うようになる中で、次に課題となったのは「原学級保障」と「教育保障」でした。養護学級のみで学習するのではなく、同年齢の児童生徒と過ごすことで、お互いに成長する「共に生き、共に育つ」という取り組みに発展していきました。「高槻市立養護学校」もその児童生徒の居住地校(校区校)へ毎週土曜日に「交流」に行き、地域とのつながりを持つことを設立以来の教育の柱としてきました。教職員組合はこうした様々な取り組みの先頭に立ち、保護者や障害者団体と連携し、市・府・国へ様々な要求をし、勝ってきました。「校区・原級保障」そして「進路」の取り組みで学校卒業後の生活の保障を！と、「公立高校に障害児を」の運動や作業所・施設の設立にも関わってきました。「萩の杜」の設立にも微力ながらお手伝いさせて頂き、それがご縁で組合執行部より北摂杉の子会評議員を選出し、関わらせて頂いております。

私自身は初めて赴任した五領中学校で市養(高槻市立養護学校のことを保護者も含めてみんな「市養」と呼んでいました。)からの交流生を担当したことをきっかけに、希望して高槻市立養護学校に異動し、本格的に障害児教育に関わりを持つようになりました。

それから廃校させられるまでの十一年間、いろいろなことを経験させてもらい、多くのことを学ばせてもらいました。今現在は中学校の養護学級担任で、昨年度より開室しました「高槻市重度障害児童生徒サポート教室」を利用する生徒の担当をしております。市養での後半は「市養存続問題」の渦中におり、「今後どうあるべきか？」ということを考えるために施設長の松上先生に多くの助言を頂きました。又、「市養」では本人・保護者の了解を得た上で、各家庭や各施設に訪問して卒業後の様子を聞かせてもらい、在籍している児童生徒の指導に生かすという取り組みを毎年行っていました。「萩の杜」にも卒業生が入所しているので開設の年から、訪問させて頂き、様々なお話を聞く機会を持たせて頂きました。「職任分離」をはじめ様々な取り組みを伺い、感心するばかりでした。その時に聞いた「ちょっとした工夫で出来たりするんですよ」という松上先生の言葉が今も鮮明に思い出されます。私自身も「バリアフリーは工夫から」と、学年集会のうちに毎年生徒に話しております。最近では、教職員組合の学習会で「萩の杜」の施設見学や「障害者自立支援法」の学習会の講師などでお世話になっております。

現在、学校現場では2007年度から始まる「特別支援教育」への準備を始めています。が、これは高槻が今まで取り組んできた「障害児教育」が大きく変化するものではなく、むしろ高槻が先進的に進めてきた「校区・原学級保障」という理念がやっと全国的に進められるようになったと思っています。そして通常学級にいる「発達障害」の児童生徒への支援のあり方・必要性がはっきりしてきたということだととらえています。

「支援を必要としている子どもに必要なだけの支援を！」これが今までも、そしてこれからも高槻で行っていく教育であり、諸課題に対応していくのが教職員組合であると思っております。

今後もいろいろな形で連携させて頂ければと思っております。

# ちょっと工夫、ちょっとアイデア

## ～ジグの力をかりて～

ジョブサイトひむろ 陶芸グループ（中西 彩）

今回は、ジョブサイトひむろから現場でのアイディアをお伝えしようと思います。よろしくお願い致します。

ところで、皆さんは陶芸の土をさわったり、もしくは実際に器をつくったりされた経験はあるでしょうか？私が初めてさわった時の感想は、こんなに冷たいものなんだ…ですが、利用者の皆さんが初めてさわった時は、どうだったんでしょう？

陶芸グループの部屋の半分では、土練機を使用して土の再生を行っています。何度も何度も機械にかけて練り直して、ようやく製品に使用できる土へと変わっていきます。その土は、向かいの窯元（フィールド土香さん）に納品され、一部はひむろで箸おきや器といった製品に変わっていきます。

では、ひむろではどのようにして利用者さんが製品作りに取り組んでいるかを皆さんに少しだけお話しさせていただきます。

実際に土をさわったことがある方はご存知だと思いますが、これが結構繊細で、なかなか思い通りにならないので、困ったものです。私たちが利用者さんにあった作業を提供していくために、使用する素材はとても重要です。その素材が、利用者さんにとって（その人にとって）使用しやすいものなのか、扱えるものなのか、苦手としていないかなど見極めなければなりません。いろんな素材の中でも土は、ちょっとした力加減一つで形が変わってしまうので作業として提供する難しさがあります。一方で、その力加減が土の醍醐味で、深みや趣きをそえて、味のあるものへと変えていきます。作品作りであるならば、それもありません。しかし、注文をうけてつくる箸おきや器は、一定のルールの下、同じ製品をつくらなければなりません。これは、いわゆる高度な技術を要する…ということですが、それをいかにひむろの利用者さんに行っていたかかが課題です。そこで陶芸グループで活躍しているのは、手製のジグたちです。

では、実際にどのように利用者さんをサポートしてくれるのかをお伝えしましょう。

### 1、均一の厚さに切る道具

木枠に均一の間隔でピンと糸を張った状態にしています。そこに土をのせて、木の板を押付けることで、同じ厚さに切っています。ちょっとしたアイデアと道具で利用者さんが一人で行なうことができます。

①



②



③



## 2、箸おきに印字をつける道具

箸おきにお店の店名印をつける作業ですが、これは、おわんとおわんの形にあわせた木片（店名が浮き彫りされるように型が貼り付けてある）に土を挟み込むことでつけます。木片にストッパーがついているので、土をつぶしてしまうことはありません。おわんを使用することで箸おきの微妙な反り具合を出すことができます。

これを使用することで、慣れた手つきで次から次へ作業を行っています。

①



②



③



## 3、箸おきのふちをきる道具

これもオリジナルのジグで、木の板を使用して作成しています。先ほど紹介した次の工程になります。この小さな機械の中に入れて、専用のへらでざっくり切ります。そうすることで、あっという間に形を整えてくれます。これを使用することで、スタッフしか出来なかった成型が利用者さんのできる仕事となりました。

①



②



③



## 4、直径 19 cmの円い型をとる

器作りの始めの型抜きです。今までの注文は直径 18 cmで、ケーキ型を使用して型抜きを行っていました。しかし、今回、直径 19 cmの注文がきたのです。19 cmは、既製のケーキ型がありません。そこで救ってくれたのは、手製の型抜き機です。これは、利用者をはじめ、スタッフも助けられています。

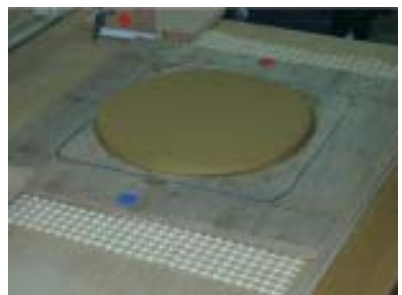
①



②



③



以上、土を使用した作業を利用者さんがいかに行えるようにするかということの日々考え、試行錯誤を繰り返してできた優秀なジグたちでした。これらジグの作成にあたっては、陶芸グループを長年担当している池口スタッフが、パートスタッフと共に陶芸の専門的な技術を惜しみなくひむろに伝授してくれてきたという経過と現在陶芸グループで活躍してくださっているボランティアさんの力があってこそ生まれたものです。今後も利用者の皆さんが少しでも、土の魅力にひきつけられるように支援していきたいと思ひます。

# 掲 示 板 コ ー ナ ー

(平成18年6月から平成18年8月まで)

## 法人本部 総務部 掲示板

- |       |                                                          |       |                                                                                           |
|-------|----------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月5日  | 経営会議                                                     |       | ③各施設・部より報告                                                                                |
| 6月27日 | 運営会議                                                     |       | 現場から報告                                                                                    |
| 7月3日  | 経営会議                                                     |       | ④懇親会                                                                                      |
| 7月25日 | 運営会議                                                     | 8月7日  | 経営会議                                                                                      |
| 7月29日 | 法人研修会                                                    | 8月26日 | 第39回理事会・第19回評議員会                                                                          |
| 時 間   | 9時～17時                                                   | 時 間   | 14時～16時                                                                                   |
| 会 場   | 高槻市立障害者福祉センター<br>(ゆう・あいセンター)                             | 会 場   | 高槻市立現代劇場                                                                                  |
| 内 容   | ①新規事業地域移行支援センター事業について<br>勝部真一郎                           | 決議事項  | 第1号議案 新規事業の件<br>第2号議案 定款変更の件                                                              |
|       | ②リーダーの役割と求められる行動第2講<br>株式会社日本経営戦略人事<br>コンサルティング<br>横井 将之 | 報告事項  | (1) IMSプロジェクトについて<br>(2) 将来構想検討委員会について<br>(3) グループホームの支援体制について<br>(4) 4月から6月の各事業の収支実績について |
|       |                                                          | 8月30日 | 運営会議                                                                                      |
- (安原 記)

## 萩の杜 掲示板

- |      |                                                                                |      |                                         |
|------|--------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------|
| 6月1日 | 飯塚雄大さん入所(ようこそ、萩の杜へ)<br>川栄一さん(6/1付)、<br>明定武司さん(5/1付)退所<br>(地域での自立生活も私たちが支援します!) | 8日   | 法人研修会                                   |
| 6日   | 歯科検診                                                                           | 11日  | 部長・主任会議                                 |
| 7日   | 精神科相談                                                                          | 11日  | 歯科検診                                    |
| 12日  | 旅行委員会                                                                          | 13日  | 旅行委員会                                   |
| 13日  | 歯科検診                                                                           | 14日  | 給食会議、生活支援係会議                            |
| 20日  | 歯科検診                                                                           | 18日  | 歯科検診                                    |
| 21日  | 精神科相談                                                                          | 19日  | 精神科相談                                   |
| 22日  | 余暇委員会                                                                          | 20日  | 利用者検診                                   |
| 27日  | 歯科検診                                                                           | 25日  | 歯科検診                                    |
| 28日  | 部長・主任会議                                                                        | 8月1日 | 歯科検診                                    |
| 7月4日 | 歯科検診                                                                           | 2日   | 精神科相談                                   |
| 5日   | 精神科相談                                                                          | 4日   | 地域移行支援センター会議                            |
| 6日   | 利用者検診                                                                          | 8日   | 歯科検診                                    |
|      |                                                                                | 10日  | 8/10から16日まで、ジョブサイトひむろ<br>休所<br>中特別プログラム |

11日 地域移行支援センター会議  
22日 歯科検診  
25日 余暇委員会

28日 ADグループミーティング  
29日 歯科検診

(河坂 記)

## ジョブサイトひむろ掲示板

6月1日 川栄一さん入所  
2日 陶芸グループ①レクリエーション  
(高槻ジャスコ・ボーリング) 2名参加  
5日 療育グループ①レクリエーション  
(ホテル阪急・外食) 5名参加  
9日 萩の杜グループ①レクリエーション  
(亀岡ガレリア) 5名参加  
12日 陶芸グループ②レクリエーション  
(エキスポランド) 4名参加  
15日 洗濯グループレクリエーション  
(ラウンドワン・ボーリング) 10名参加  
22日 療育グループ②レクリエーション  
(ラウンドワン) 5名参加  
23日 そうぞう2グループ①レクリエーション  
(丹波自然運動公園) 6名参加  
23日 6月労働支援課会議  
26日 陶芸グループ③レクリエーション  
(芝生体育館・外食) 6名参加  
29日 そうぞう2グループ②レクリエーション  
(丹波自然公園) 5名参加  
30日 長尾宗昭さん退所 (就職されました)  
  
・6月実習生 1名 7日間  
・6月見学者 5組 20名  
・6月ボランティア 1名 22日間

7月1日 永田泰士さん入所  
7日 そうぞう4グループ①レクリエーション  
(緑の文化園) 6名参加  
  
・8月実習生 3名 6日間  
・8月ボランティア 1名 18日間  
(平野 記)

14日 そうぞう4グループ②レクリエーション  
(緑の文化園) 6名参加  
17日 祝日開所。ひむろ利用者28名、通所部利用者  
1名参加  
21日 折りコングループレクリエーション  
(星田園地) 10名  
21日 7月労働支援課会議  
24日 エアロビクス①グループ (ゆうあいセンター)  
31日 エアロビクス②グループ (ゆうあいセンター)  
  
・7月実習生 5名 14日間  
・7月見学者 5組 17名  
・7月ボランティア 1名 20日間

8月4日 萩の杜グループレクリエーション  
(亀岡ガレリア) 4名参加  
9日 利用者慰労会  
10日～16日 夏季休暇  
24日 そうぞう3レクリエーション  
(エキスポランド) 7名参加  
25日 8月労働支援課会議  
26日 土曜日開所日(グループ毎に外食)  
ひむろ利用者29名参加  
28日 そうぞう1レクリエーション  
(高槻ジャスコ・ボーリング) 5名参加

## 自閉症支援部掲示板

### ○アクトおおさか

6月2日～3日  
発達障害者支援センター全国連絡協議会  
総会・実務者研修参加  
新澤、古東 (於 千葉県)  
6日 大阪府成人期発達障害支援機関連絡会出席

新澤、高橋、古東(於 大阪障害者職業センター)  
7日 幼児・学齢期自閉症理解のための連続講座  
第1回 講師 新澤  
8日 東大阪市教職員対象  
自閉症理解のための連続講座  
第1回 講師 新澤

- 14日 幼児・学齢期自閉症理解のための連続講座  
第2回 講師 古東
- 16日 河内長野市教職員対象  
自閉症理解のための連続講座  
第1回 講師 新澤
- 18日 NHKハートフォーラムin奈良  
シンポジウム講師 新澤
- 21日 幼児・学齢期自閉症理解のための連続講座  
第3回 講師 古東
- 24日 自閉症eネット月例会本部会場  
事務局担当 高橋
- 28日 大阪障害者就業・生活支援(準備)センター  
連絡会出席 新澤
- 29日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会  
出席 新澤、古東
- 6月30日～7月1日  
自閉症eネット初任者研修  
事務局担当 高橋
- 7月5日 幼児・学齢期自閉症理解のための連続講座  
第4回 講師 新澤
- 6日 河内長野市教職員対象 自閉症理解のため  
の連続講座 第2回 講師 古東
- 7日 東大阪市教職員対象 自閉症理解のため  
の連続講座 第2回 講師 新澤
- 21日 河内長野市教職員対象 自閉症理解のため  
の連続講座 第3回 講師 新澤
- 22日 自閉症eネット月例会本部会場  
事務局担当 高橋
- 21～22日 発達障害者支援センター職員研修会参加  
本谷(於 秩父学園)
- 22～23日 日本自閉症協会全国大会参加  
第4分科会報告 新澤(於 岐阜市)
- 24日 河内長野市教職員対象 自閉症理解のため  
の連続講座 第4回 講師 古東
- 8月3日 大阪府立富田林養護学校テーマ別合同研修会  
講師 新澤、高橋
- 21日 東大阪市教職員対象 自閉症理解のため  
の連続講座 第3回 講師 古東
- 23日 大阪障害者就業・生活支援(準備)センター  
連絡会出席 新澤、高橋
- 24～25日 大阪府立富田林養護学校 実技セミナー  
講師 新澤、高橋
- (新澤 記)

#### ○児童デイサービスセンターan

8月 療育児のための訪問相談実施

- 8月2～4日  
サマースクール実施 A・Bコース  
(参加：4名) (講師 松岡ほか)
- 23～25日 サマースクール実施 C・Dコース  
(参加：4名) (講師 松岡ほか)

#### ○大阪自閉症支援センター

- 7月5日 和泉市立鶴山台南小学校 スーパーバイズ  
(講師 谷岡)
- 6日 泉大津市教育委員会 巡回相談  
(講師 谷岡)
- 8日 「自閉症療育者のための実技セミナー  
土曜コース」 第3回 (講師 谷岡)
- 10日 豊中市教育委員会 「障害児教育研修」  
(講師 新澤)
- 11日 南河内北障害者就業・生活支援センター  
(講師 新澤)
- 14日 豊中市教育委員会 巡回相談(講師 谷岡)
- 22日 「自閉症療育者のための実技セミナー  
土曜コース」 第4回 (講師 谷岡)
- 25日 豊中市教育委員会 「就学前における障害児  
教育研修」 (講師 新澤)
- 27日 茨木市立平田中学校 校内研修会  
(講師 新澤)
- 27～28日 摂津市コーディネーター研修会講師派遣  
(講師 谷岡)
- 8月2日 高槻市教育センター 「夏期教育セミナー」  
(講師 新澤)
- 4日 大阪府養護教育研究会 「夏季研修会」  
(講師 新澤)
- 4日 大阪教育大附属養護学校 「自閉症の子供に  
対する適切な支援と構造化」  
(講師 谷岡)
- 5日 「自閉症療育者のための実技セミナー  
土曜コース」 第5回 (講師 谷岡)
- 9～10日 高槻市教育センター 「自閉症教育担当教員  
養成研修」 (講師 谷岡・大澤)
- 21～23日 川崎医療福祉大学 平成18年度自閉症  
トレーニングセミナー (講師 谷岡)
- 22日 石川県教育委員会 「自閉症の理解と支援  
のあり方」 (講師 新澤)
- 29日 豊中市立桜塚小学校 校内研修会  
(講師 谷岡)
- 29日 吹田市立第一中学校 校内研修会  
(講師 谷岡)



30～31日 和泉市立鶴山台南小学校  
トレーニングセミナー(講師 谷岡・大澤)

24日 実践講座  
31日 保護者指導 (Bグループ)

8月7日～11日

療育お休み

○自閉症療育センターw i l l

7月3日 保護者指導 (Aグループ)

(谷岡 記)

## ジョブサイトよど掲示板

6月5日 支援員会議

6日 就労支援プロジェクト会議

14日 調理グループレクレーション

19日 支援員会議

22日 施設見学会

23日 陶芸グループレクレーション

7月4日 就労支援プロジェクト会議

10日 支援員会議

21日 IMS会議

26日 施設見学会

8月7日 支援員会議

8日 IMS会議

11日 慰労会

12～20日 調理作業場改装工事

(佐々木 記)

## 萩の杜家族会掲示板

6月5日 バザー準備

6～7日 バザー 元紙風船にて

11日 草刈り 萩の杜敷地内建物内清掃 33名参加

15日 茨木養護学校にて物品販売

25日 高槻カトリック教会にて花販売

25日 定例会

会員28名 松上施設長 河坂副施設長

安原総務部長 出席

支援費請求と利用者負担額の算出と外泊について

障害程度区分と新体制について その他

29日 ホットトーク 松上施設長 河坂副施設長

支援員2名

Cグループ父母との懇談

7月10日27日

サークル萩

16日 役員会 役員10名 松上施設長

河坂副施設長 出席

資金作り提案 松上施設長・河坂副施設長

からの報告 その他

19日 ホットトーク 松上施設長とBグループ母

親との懇談

23日 高槻カトリック教会にて花販売

23日 定例会

会員23名 中村理事長 松上施設長

河坂副施設長 出席

障害者程度区分認定についての状況説明

保護者に対するアンケート結果 中間報告

施設内補修状況について その他

8月 定例会 役員会 サークル萩 お休みです

7日 広報部 発送手伝い 3名

9日 障害者自立支援調査研究プロジェクトが  
手がける

贅沢野菜バランスランチ (IMS) 試食会

数名参加

(大橋 記)



## ジョブサイトひむろ家族会掲示板

- |      |                                                                         |                                                                                    |
|------|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月6日 | 定例会・利用料の自動引き落としの具体的方法の確認の件<br>アンケート結果(休日開所・旅行)説明と今後の対応について。その他          | (利用者・保護者一花の会中川さん)                                                                  |
| 7月1日 | 会員の異動・退会 長尾昭さん<br>入会 永田健二さん(いずれも利用者の入退所に伴う)<br>異動に伴う会員名簿及び電話連絡網の修正を案内する | 8月4日 障害程度区分認定の他市情報と今後の対応について・会長出席                                                  |
| 3日   | 第一回将来構想小委員会・地域移行のあり方について 会長出席                                           | 9日 安原総務部長さんご母堂のご逝去に際し弔電を家族会として打電する                                                 |
| 7日   | ひむろよりアンケート調査実施・利用者の将来の暮らしについて                                           | 22日 役員会・施設利用契約書・個別支援計画の件・家族会会費の自動引き落としの件<br>自立支援法の件・その他<br>第三回将来構想小委員会・会長出席        |
| 17日  | 祝日(海の日)初の開所日                                                            | 26日 北摂杉の子会理事会・評議員委員会・会長出席                                                          |
| 20日  | 第二回将来構想小委員会・会長出席<br><br>障害程度区分の認定調査のための面談を7月中順次実施する                     | 30日 定例会・施設利用契約及び個別支援計画の説明・障害認定区分調査の経過について<br>家族会会費徴収方法の件・アンケート結果(将来の暮らしについて)報告・その他 |
|      |                                                                         | 31日 会員の移動・退会 早川秀春さん(利用者の退所に伴う)                                                     |
- (沖本 記)

## 北摂杉の子会後援会掲示板

### <近況報告>

萩の杜家族会、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよどの家族会を含む多くの方々のご支援のおかげで、後援会の会員数はほぼ順調に推移しています。また、寄付も頂いています。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

- ・2006年6月末  
個人会員:536名 団体会員:15団体合計:551名/団体
- ・2006年7月末  
個人会員:543名 団体会員:15団体合計:558名/団体

・2006年8月末

個人会員:555名 団体会員:18団体合計:573名/団体  
(今年度の新規会員:個人;66名、団体;5団体)

### <会員様の声>

後援会費納入、寄付の際に法人へ寄せられた会員様のコメントを、ご紹介します。

- ①TEACCHの勉強会のおかげで、子育てができています (大阪市、HI様)
- ②A小学校に今年度転勤しました。体調もよく新転地でがんばっています (高槻市、TY様)  
(棚山 記)

## ジョブサイトよど家族会掲示板

- |      |                                                  |      |                              |
|------|--------------------------------------------------|------|------------------------------|
| 6月5日 | 家族会役員会開催。100円喫茶実施。                               | 28日  | J S よど通信第1号発行。               |
| 8日   | オアシス役員会で、100円喫茶実施。                               | 29日  | 大阪府発達障害ネットワーク運営委員会で100円喫茶実施。 |
| 9日   | 十三東2丁目町会長へ会長、副会長3名訪問。<br>第1回萩の杜見学会(オアシス共催)10名参加。 | 7月3日 | 家族会役員会開催。100円喫茶実施。           |
| 13日  | 第2回萩の杜見学会(オアシス共催)4名参加。                           | 5日   | 第3回萩の杜見学会(オアシス共催)3名参加。       |
| 22日  | オアシス座談会で100円喫茶実施。                                | 10日  | 家族会臨時役員会開催。                  |

- 13日 第1回給食試食会15名参加。  
中央フード管理栄養士「衛生について」勉強会実施。  
7月家族会定例会開催。
- 8月7日 家族会役員会開催。100円喫茶実施。  
IMSプロジェクト試食会中村理事長、今村副理事長、萩の杜家族会4名  
J Sよど家族会6名参加。

- 10日 十三東2丁目町会に入会。  
19日 十三東地藏盆に役員参加。  
22日 十三東2丁目町会長代理へ中村理事長、河端理事 会長 会計4名訪問。
- 8月26日 北摂杉の子会理事、評議委員会 河端、福田参加。
- (福田 記)

## 大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス 掲示板

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>6月1日 広報委員会 「ジョブサイトよど」取材<br/>〃 「児童デイサービスセンターan」を南木、福田が見学</p> <p>2日 「西区社会福祉講演会」参加 (於：大阪市西区役所合同庁舎6階)<br/>「自閉症と療育との関わりについて」福田が講演、「大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシスについて」南木が説明</p> <p>8日 役員会</p> <p>9日 就労委員会準備会 (ジョブサイトよど家族会と共催) 萩の杜見学会 (1)<br/>4名参加</p> <p>10日 おやじの会 6月例会「兄弟関係を考える」</p> <p>13日 就労委員会準備会 (ジョブサイトよど家族会と共催) 萩の杜見学会 (2)<br/>2名参加</p> <p>15日 研修委員会 実践報告会<br/>(於：ドーンセンター)<br/>「さところちやんの暮らし」<br/>…自発に向けて日々コツコツ…<br/>報告者・芝秀子さん (オアシス会員)<br/>75名参加</p> <p>収益委員会 実践報告会会場にて書籍販売と募金活動</p> <p>22日 交流委員会 新澤伸子先生を囲んでの座談会<br/>「障害受容に向けて～はじめの一步～」<br/>23名参加</p> <p>23日 オアシス正会員アンケート調査用紙発送</p> <p>25日 学齢委員会 ボランティアと就労体験の打ち合わせ 南木、和泉同席</p> | <p>29日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会<br/>福田、藪内、和泉が出席</p> <p>7月2日 学齢委員会 就労体験 (1)<br/>会員児がいるか通信発送作業を手伝う<br/>9名参加</p> <p>5日 就労委員会準備会 萩の杜見学会 (ジョブサイトよど家族会と共催) (3)<br/>7名参加</p> <p>6日 役員会</p> <p>7日 研修委員会 学習会 (於：大阪市長居障害者スポーツセンター和室)<br/>11名参加</p> <p>9日 学齢委員会 就労体験 (2) 10名参加</p> <p>12日 広報委員会「いるか通信16号」と各種案内を発送</p> <p>13日 広報委員会 編集会議</p> <p>21日 南木、大阪市発達障害者支援センター・エルムおおさかを訪問</p> <p>22日 おやじの会 7月例会 梅田の「野猿」にてビアパーティー 11名参加</p> <p>25日 南木、大阪市教育センター、大阪府教育センターを訪問</p> <p>26日 南木、大阪市社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会、ファインプラザ大阪を訪問</p> <p>8月4日 南木、大阪府教育委員会を訪問<br/>〃 (財)母子保健衛生研究会の栄養士指導者研修会参加<br/>「発達障害」をテーマとした研修を福田が受講 (於：中央区民センター)</p> <p>6日 役員会</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
- (南木 記)

□法人へのご寄付に感謝します (2006年6月21日～9月14日)

小山英夫 浅野憲治 中本昭 福田啓子 近藤勝法律事務所 弁護士 近藤 勝

□後援会ご入会と会費納入に感謝します (2006年5月25日～8月25日)

金子京子 降幡宏子 (法橋周二いとこ会) 降幡 真 (法橋周二いとこ会) 降幡 聡 (法橋周二いとこ会)
池田洋子 (法橋周二いとこ会) 池田資文 (法橋周二いとこ会) 小林望光 (法橋周二いとこ会) 小林基弘 (法橋周二いとこ会)
小林香代子 (法橋周二いとこ会) 内田幸子 下村孝子 岩槻訓子 橋本紀子 (高槻市教職員組合) 高岸照子 福田啓子
中島江美子 平田 実 平田登代子 藤崎靖之 山里文男 圓佛誠一郎 阿部倫子 垣本寿也子 野口美子 菅沼朋子
中道 治 小林栄三 具志堅 進 山本壽一 沼波喜代子 戸田純子 (高槻市教職員組合) 西村正雄 北村久美子 八幡幸子
西田源太郎 井桁友紀枝 坂井恵美子 林 智恵 長谷川ひろみ 中村節史 中村悦子 中村豪史 中村義昭 新田利秀
森 泰雄 森 洋見 森 芳春 森 正輝 森 善希 西原清二 西原律子 西原圭一 西原香織 西原尚史 東 敬司
大上直子 山本公子 富宅由美子 井上誠子 上里弘子 今村暢也 小野明子 今村聡之 山内千鶴子 安部勢津子 安部美和
長嶺真佐子 山里文男 田寺文字 田口和人 田口容子甲木和子 甲木 翠 浜田由美子 副島雄彦 本田文江
米田たか (赤大路小学校) 木村恵美子 和田恵美子 住友勝義 沖本卓郎 沖本美公子 沖本公郎 沖本 太 谷川百合
円藤優香 円藤舞香 沢田良造 宮地和子 吉田保子 伊福久子 井上陽子 加藤 浩 吉田勢蔵 加島孝人 新開健治
植松信機 植松里枝 植松小遙 植松芳哲 植松登志子 植松正機 山口賢次 山口文子 冨坂昭子 冨坂健治 平山寿美子
岩 富美枝 岩 忠 岩 弘子 岩 愛子 岩 敬子 新谷 敦 田中そうじ 本田千秋 桐山泰代 荒木洋子(北摂初田
寒川裕二 高島鴻志 高島美津子 中谷日出子 畑中孝雄 大坂ふさ子 渡辺洋子 馬場広充 三宅邦一 (法橋周二いとこ会)
三宅園子 (法橋周二いとこ会) 藤下智子 藤木章雄 有馬しのぶ 北爪敏雄 北爪隆子 北爪紀子 佐々木久美子 林 秀郎
山口延夫 中本 昭 小倉襄二 山根民子 (株)大手前プランニング 小島徹也 (有)福智不動産 (福智康彦)
福智電機株式会社 千畑博保 福智道一 福智幹太 四方あかね 長尾幸一路 長尾智久 長尾あゆみ 長尾杏奈 長尾京子
永田啓子 遠藤一太 遠藤仁子 永田泰士 寺村有里子 永田健二 吉川輝夫 吉川弘子 吉川滋子 吉川敦子 森谷弘雅
森谷薫美 森谷奈津美 棚山薫晴 棚山 妙 佐々木サツキ 森田 弘 森田豊子 森田俊博 森田靖紀 木下治一

□後援会へのご寄付に感謝します (2006年5月25日～8月25日)

井上輔希子 福岡貴子 匿名様 小林栄三 戸田純子 (高槻市教職員組合) 大西幸子 仲西佐保子 矢橋知美 新川カツエ
川畑昭夫 (柱本保育園) 増田桂子 田口敦夫 大坂ふさ子 林 秀郎

□家族会 (萩の杜) へのご寄付に感謝します (2006年7月1日～9月14日)

黒瀬美和子 匿名様 (目垣の方) 本田英世 ほかほか弁当園田店

□物品のご提供に感謝します (2006年7月1日～9月14日)

福田節子 長井美代子 梶原明子 工藤 太田 伊東 上里 泉 南野 不二園芸

□ボランティアに感謝します (2006年4月～9月)

出原和代 宮脇亜矢子 越田民代 田村満 松代和子 永井由美子 新海公幸 奥島勝敏 原 奈緒美 満村 愛 廣田敦美
ほかほか弁当園田店 ニューフジ 松木咏子 岡本敦子 佐々木映世 森田幸子

(敬称略 順不同)

寄付と後援会入会のお願

記

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支
援して下さいの寄付及び後援会への入会をお願い申し上げ
ます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせて
いただきます。

お振込みは右記口座まで、もしくは、同封の振込用紙をご利
用下さい。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

- 1. 寄付金 円
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会

00920-8-90859

- 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1 (萩の杜内)
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] info@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/suginokokai/
□ 知的障害者生活施設 萩の杜
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] haginomori@suginokokai.com
□ ショートステイセンター ぶれす
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130
[E-Mail] breath@suginokokai.com
□ グループホーム とんだ
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14
□ グループホーム みやた
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1
■ 高槻市障害者地域移行支援センター だ・かーぼ
〒569-1141 高槻市氷室町3-20-10
TEL (072) 690-5221 FAX (072) 690-5227
[E-Mail] da-capo@suginokokai.com
□ 知的障害者通所授産施設 ジョブサイトひむろ
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL & FAX (072) 697-2234
[E-Mail] himuro@suginokokai.com

- 生活支援センター あんだんて
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072) 697-2233 FAX (072) 697-2234
[E-Mail] aandante@suginokokai.com
■ 大阪府発達障害者支援センター アクトおおさか
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072) 662-0055 FAX (072) 662-0056
[E-Mail] act-osaka@nifty.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
□ 自閉症療育センター will
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072) 662-0100 FAX (072) 662-0056
[E-Mail] will@suginokokai.com
□ 知的障害者通所授産施設 ジョブサイトよど
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-7007 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] yodo@suginokokai.com
□ 大阪自閉症支援センター
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] oasc@oasc.jp [URL] http://oasc.jp
□ 児童デイサービスセンター an
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015
[E-Mail] oasc@oasc.jp [URL] http://oasc.jp

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 中村節史
発行日 2006年10月10日

発行所 北摂杉の子会 住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1

